

賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田										公明党	維新・半田市民の会	志民ネット	自民クラブ	無所属	議決結果									
		沢田清	芳金秀展	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	澤田勝	岩田玲子	渡辺昭司	久世孝宏	石川英之							榑原伸行	山田清一	坂井美穂	山本半治	加藤美幸	中川健一	竹内功治	小出義仁	小栗佳仁
議案45	令和2年度半田市一般会計補正予算第6号(消防団活性化のため、ホイッスルライトを整備・児童生徒に一人1台タブレット配備を令和5年度から令和2年度に前倒しする・担い手支援としてトラクターの購入補助金など)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決	
議案53	半田市高度先端産業立地促進条例の一部改正について(新規雇用者の範囲を正社員から契約社員などへも拡大)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出1	半田市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について(コロナ禍の非常時に、各議員がそれぞれの思いを込めて「何かをやらなくてはならない」との考えから、議員報酬を来年3月まで3%、削減するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出2	令和2年度に交付する政務活動費の限度額の特例に関する条例の制定について(コロナ禍の非常時に、各議員のそれぞれの思いを込めて「何かをやらなくてはならない」との考えから、今年度分の政務活動費の支給額の上限を、15万円から5万円に削減するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案57	令和2年度半田市一般会計補正予算第7号(新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変したひとり親世帯へ支援するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(表の見方)議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

討 論

議案45号に反対/議員提出議案1号に賛成

鈴木健一議員
議案第45号に対し反対です。現状でも忙しい教職員にコロナ対策として、消毒などの業務をして貰っています。その上に、業務を増やす事になる予算には賛成できません。議員提出議案第1号に対し賛成です。内容には同意ですが市民に対する人気取りに終わらないように、しっかりとコロナ対策に使うことを求めます。

議員提出議案1・2号に賛成

坂井美穂議員
新型コロナウイルスの影響による窮状を市民と共に乗り越える役割と責任は重大であると考えています。そこで、経済的に困難な生活を強いられる市民や事業者の皆様に寄り添い、削減により生じた予算を半田市における感染拡大防止対策など市民のために活用してもらおう、議員提出議案第1号及び第2号に賛成

議員提出議案1・2号に反対

中川健一議員
私たち議員の年収は780万円ですが、その2%わずか16万円を削減することで市民に寄り添うことができると議員自らが自作自演で金額を決めること自体がお手盛り批判を免れません。ある市民は国会議員と同様に20%削減すべきとの意見でした。第3者機関である半田市特別報酬審議会で市民の声を伺いながら削減額を決めていただくのが適切です。

議員提出議案1・2号に賛成

石川英之議員
中川議員の反対討論では、合計50万円の削減は「せこい」とのことでした。元々議員報酬及び政務活動費の削減に対し、自民クラブは「削減するつもりはない」維新・半田市民の会は「今は削減するつもりはない」とのことです、そのような会派に「せこい」と言われる筋合いは全くなく、対案も出さずに反対をされる

これは理解ができません。議案57号に反対

加藤美幸議員
この議案には民生費と議会費が含まれており、そのうち「低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業」の民生費については賛成ですが、議会費については、議員報酬と政務活動費の特例に関わる条例に反対の立場であることから反対です。よって議案第57号には反対です。

議案57号に賛成

久世孝宏議員
多数決によって一度決まれば、反対者も決まったことがより良くなるように一丸となって取り組んでいただければ、より良いものになります。議員報酬、政務活動費削減をする条例の制定で反対をされた議員も、実際に予算に反映する本議案ではぜひ賛成をいただき、コロナ禍に一丸となって対峙していけたらと思います。ご賛同をお願いします。